

企業価値向上 日本郵政グループのあゆみ

創業から今日までの軌跡

日本郵政グループは、前島密により郵便事業が1871年に創業されてから148年目を迎えます。これまで、郵便局ネットワークを中心に、郵便・貯金・保険の三事業を中心としたさまざまな商品・サービスを通じてお客さまに寄り添ってきました。

さらに、2007年日本郵政グループが発足し、今日までお客さまの生活や地域社会をサポートするサービスを拡大してきました。

2007年

日本郵政グループの発足

郵政民営化に伴い日本郵政公社が解散し、日本郵政(株)を持株会社とし、郵便事業(株)、郵便局(株)、(株)ゆうちょ銀行および(株)かんぽ生命保険を中心とした日本郵政グループが発足しました。



2012年

現在の4社体制への移行

郵便事業(株)と郵便局(株)は、郵便局(株)を存続会社として合併し、社名を日本郵便(株)に変更したことにより、日本郵政グループは5社体制から現在の4社体制へと再編されました。



2010

2005

1871年

郵便事業創業

1875年

郵便貯金事業創業

1916年

簡易保険事業創業

2009年

全国銀行データ通信システムとの接続開始

2009年1月5日、(株)ゆうちょ銀行のオンラインシステムと全国銀行データ通信システム(全銀システム)の接続が行われました。これにより、全銀システムに接続している約1,400行の金融機関と相互に振り込みができるようになりました。



2013年

「JPタワー」(「KITTE」)グランドオープン

旧東京中央郵便局敷地において、商業施設「KITTE」を含むJPタワー全体がグランドオープンしました。これ以降、事務所、商業施設、住宅、保育所や高齢者施設などの賃貸を中心に不動産事業を積極的に展開しております。



2015年

東京証券取引所市場第一部への上場

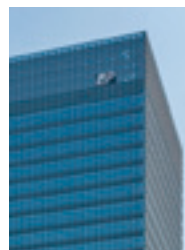
2015年11月4日、日本郵政(株)・(株)ゆうちょ銀行・(株)かんぽ生命保険の3社は東京証券取引所市場第一部に同時上場しました。今後も行われる金融2社株式の売却による日本郵政(株)の収入について、日本郵政グループの企業価値および株式価値の維持・向上のために活用されます。



2018年

新規収益獲得のための会社設立

2017年11月設立の日本郵政キャピタル(株)に続き、プライベートエクイティ投資による更なる収益拡大を行うためのJPインベストメント(株)、不動産事業をより効率的に推進し、グループ収益の柱の一つとして成長させるため、日本郵政不動産(株)を設立しました。事業を拡大することで、今後も新たな収益の獲得を目指します。



2015

2016年

地域活性化ファンドへの参加

地域活性化ファンドの第一号ファンド(九州広域復興支援ファンド)へ出資いたしました。2019年3月までに18ファンドへ参加しています。

2018年

アフラック・インコーポレーテッドへの出資

日本郵政(株)とアフラック・インコーポレーテッドおよびアフラック生命保険株式会社は「資本関係に基づく戦略提携」を締結しました。



2015年

豪州物流企業トール社の完全子会社化

豪州物流企業トール社の発行済株式100%を取得し、子会社化を完了いたしました。これ以降、同社をプラットフォームとして国際物流事業を展開しています。



2017年

「郵便局のみまもりサービス」の開始

「みまもり訪問サービス」、「みまもりでんわサービス」、「駆けつけサービス」からなる「郵便局のみまもりサービス」を、全国の直営郵便局において提供開始しました。



これからも「そばにいるから、できることがある。」のスローガンのもと、「トータル生活サポート企業グループ」を目指して歩み続けます。